

TRX-305MB ファームウェア・アップデート

バージョン501D

2015/1/31 西村芳一

いろいろと軽微な問題点について対策しました。

(1) CW KEY入力の接点変更

CW KEY入力の接点は、ステレオ・ジャックの真ん中の電極と、根元の電極でした。しかし、ユーザからの指摘で、ジャックの種類によっては接触不良になる場合があるとのことで、接点を変更しました。

モノラル・プラグでも使えるように、先端と根元の電極に変えました。

これで、間違ってもモノラルのジャックを挿入しても送信しっぱなしになることもないですし、接触不良も減ると思います。

なお、今まで使用していたKEYコードのプラグ側の配線を下記のように変更する必要があります。



結線

旧：Sがグラウンド、Rがキー接点

新：Sがグラウンド、Tがキー接点

(2) ADXコマンドの修正

ADXコマンド（テスト・モード）で受信中に、送信の変調出力を同時に出すことが可能です。しかし、途中のファームウェアのアップデートで、これが効かないバグが発生していました。

正常に働くように変更しました。

(3) 出力保護の方式

これまで、SWR値で出力保護をしていましたが、出力が小さいときにSWRが測定できなくなる問題がありました。そこで、SWR値の代わりに、反射電力そのものを測定し、それが0.75ワットを超えると出力を絞るようにしました。

(4) ALCの時定数

ALCの時定数が長めだったので、これを半分の時間に短縮し、より反応を速くしました。

(5) CWモードでの受信復帰

CW送信でキーをOFFしてから受信に戻る場合、めったにないのですが、ごくまれに受信にならないで、送信しっぱなしになる場合がありました。そこで、確実に受信モードになるように、ファームウェアを変更しました。

新しいファームウェアのファイル名は、

trx305mb501d.mot

です。